

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 ネバーランド福祉会	代表者	理事長 和田 泰子	法人・ 事業所 の特徴	法人理念の「自由・創造・愛」をもとに、「愛ある生活が送れる」を目標に『パーソン センタードケア』の学習を法人全体で取り組んでおります。それに加え『アドラー心理 学を福祉に活かす』をテーマに、利用者様の真のニーズに応えられるよう研修会等を実 施しております。自分らしく・自分が主役でいられる、そんな日々が送れる、それを支 援できることを目指しています。
事業所名	小規模多機能ホーム ネバーランド	管理者	古河 純子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1 人	2 人	人	人	1 人	人	4 人	人	5 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	・評価の際には、事前の運営推進会議で説明を行い、説明文など施設の様子が分かる資料を添える等して評価していただく。 ・事業所評価の進捗については、引き続きをご家族様に報告します。	・事業所評価報告しております。 ・評価の際には説明文を添えて評価して頂いた。	事業所自己評価で取り組みが分かった。	改善計画が実行できているかの進捗状況を定期的に確認しながら取り組んでいく。
B. 事業所の しつらえ・環境	・引き続き、感染症対策を徹底して行う。 ・手芸クラブは定期的実施し、利用者様が自由に読書や書き物などをしていただきやすいような環境づくりに努める。	・コロナ禍でも安心して利用して頂けるよう、定期的な換気や・消毒・テーブルやソファの配置に気を配り感染症対策を実施した。 ・手芸が得意な職員を中心に手芸クラブを定期的実施した。	特になし。	・感染症対策を徹底しながら、座席の配置等居心地よく過ごしていただけるよう気を付ける。 ・手芸クラブは定期的実施し、利用者様が自由に読書や書き物などをしていただきやすいような環境づくりに努める。
C. 事業所と地域の かわり	・地域行事やイベントに参加させて頂く。 ・テイクアウトを引き続き実施し、機会を見て地域の飲食店等に外食に出かけ地域との交流を図る。	・地域の飲食店（主に甘味）のテイクアウトを利用しお茶会等を実施し楽しんで頂けた。 ・地域の秋祭りの屋台練り歩きを見学して頂いた。 ・地域のふれあいサロンに参加させて頂いた。 ・地域の飲食店へ外食に出かけた。	・今後、地域行事も増えていくので施設の方にも参加してほしい。 ・テイクアウト等色々な取り組みをされていて素晴らしいと思う。	・地域行事やイベントに参加させて頂く。 ・テイクアウト、外食イベントを定期的実施して地域との交流を図る。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える 取り組み	・引き続き、当法人で行っている出張カフェ等に参加し、地域へ出向き理解と交流を深めていく。	・地域行事に参加することが出来た。	・今後少しずつ地域行事が増えると思う。その中で関わりを作ってもらいたい。	・引き続き、当法人で行っている出張カフェ等に参加し、地域へ出向き理解と交流を深めていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議において報告事項だけでなく、意見や疑問・改善すべき点等を参考にし、事業に反映していく。	・地域で起きている困りごとや問題点を聞くことが出来た。	・必要に応じた情報交換等は出来ている。	・運営推進会議において報告事項だけでなく、意見や疑問・改善すべき点等を参考にし、事業に反映していく。
F. 事業所の 防災・災害対策	・地域と連携を図りながら防災訓練を実施する。 ・ハザードマップ等を活用し、施設周辺の自然災害のリスクを把握し万が一に備える。 ・職員全員が的確な対応が行えるよう、情報共有・役割分担を明確にしておく。	・地域と連携し訓練が実施できた。 ・ミーティングや勉強会を行い、職員全員が的確な対応が行えるように努めた。	地域の防災訓練に参加や参画することが大切。 地域との協力体制、役割分担を明確にする必要性がある。	・職員全員が的確な対応が行えるよう、情報共有・役割分担を明確にしておく。 ・地域と連携を図りながら防災訓練を実施する